

公共下水道事業特別会計

この事業には

7億8,860万円

の予算を計上しています。

担当：建設水道部上下水道課公務普及係・業務係

☎39-2317

公共下水道事業は、地域住民に水洗化を促進啓発することにより、潤いのある快適で衛生的な生活環境の向上と快適な居住環境を形成すると共に、公共水域の水質汚濁防止を図るために下水道整備区域の拡充と水洗化率の向上に努めています。

平成2年度より供用開始となった富良野地区の公共下水道は前年度末で、処理区域面積473ha、処理人口17,018人、水洗化人口は15,641人、水洗化率が91.9%です。山部地区の特定環境保全公共下水道は平成14年度より供用開始となり、前年度末で処理区域面積58ha、処理人口1,336人、水洗化人口911人、水洗化率68.2%となっています。

国の負担額	5,080万円
富良野市の負担額	7億3,780万円

【平成19年度の主な事業】

◆ 公共下水道事業に要する経費 1億1,187万円

平成19年度は、築17年を経過した富良野水処理センターの屋根葺き替え工事と外壁塗装工事、朝日町の雨水幹線の転落防止フェンス建設を実施します。

管渠工事は学田3区の污水管布設工事や西4条と北1丁目の污水管布設工事等を実施します。

その他としては、下水道事業再評価委託、下水道事業耐震診断委託、下水道事業変更認可委託等を実施します。

国の負担額	4,730万円
富良野市の負担額	6,457万円

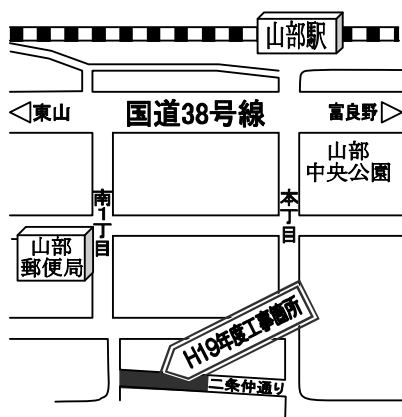


富良野水処理センター

公共下水道事業特別会計

◆ 特定環境保全公共下水道事業に要する経費 1,561万円

山部地区の特定環境保全公共下水道事業は、平成10年度から整備が行われ58haが整備されました。平成19年度は汚水管布設工事2,333mを実施します。



国の負担額	350万円
富良野市の負担額	1,211万円

下水道は本管工事が終了した区域の方は、4月から「処理開始区域」になります。

生活雑排水は1年以内に、トイレは3年以内に水洗化し、汚水を下水道に流すようにしてください。配水設備工事は、水洗化等改造資金助成制度の対象となり補助金または、無利子貸付のいずれかが受けられます。

簡易水道事業特別会計

この事業には

1億960万円

の予算を計上しています。

担当：建設水道部上下水道課施設係・業務係 ☎39-2317

簡易水道事業は、計画給水人口が5,000人以下の水道事業であり、市内には島の下簡易水道、学田地区簡易水道、富丘地区簡易水道、布部市街地区簡易水道、山部市街地区簡易水道、東山市街地区簡易水道の6ヶ所の簡易水道があります。

市では効率的な運営と施設の適正な維持管理を図ることを目的として事業を実施しています。

本年度は、山部市街地区簡易水道配水管移設工事と山部市街地区簡易水道配水制御計装機器更新工事を実施します。

その他には量水器取替工事を実施します。